

3 笠間ドラッグレースフェスタ

| 3/17

笠間で初開催となる「笠間ドラッグレースフェスタ2024」が、茨城中央工業団地の特設会場で行われました。

当日はデモンストレーション走行のほか、エクストリームバイクショー、地元チームによるキッズダンス、BMX・スケートボードなどアーバンスポーツの体験、地元の高校吹奏楽部やお雛子の演奏などで大盛り上がり。

また、マシンの展示や飲食ブースなどもあり、来場した皆さんはとても楽しんでいました。



会場の様子

4 子どもたちの安心安全を願って

| 3/18

株式会社常陽銀行から市内の小学校と義務教育学校の新1年生のために、防犯ブザー 550 個を寄贈いただきました。

この寄贈は、常陽銀行の地域貢献活動の一環として行われています。今年で20回目となり、安心安全な生活ができる地域社会づくりに貢献していきたいという願いが込められています。

長きにわたり寄贈いただき、感謝します。



（左から）おおとも みつひろ 株式会社常陽銀行 大友 光広 友部支店長、山口市長

こんな出来事ありました

ココデキ

1

賑わいのある地域づくりに向けた包括連携協定を締結

| 3/1

笠間市とイオン株式会社、笠間商業開発株式会社による「賑わいのある地域づくりに向けた包括連携協定」の締結式が笠間市役所で行われました。

この協定は、人口減少や少子高齢化を背景とした市民生活における多様な課題の解決に向け、それぞれが持つ資源や人材を活用し、三者の連携と協力による研究や事業の実施を通して、持続し、活力ある地域づくりを推進することを目的としています。

今後、子育て応援イベントや職場体験イベントの開催、高齢者や子育て世代向けのインターネットを活用した買い物サービスの導入研究、ご当地 WAON カードの導入（WAON 利用の0.1%を市へ寄付）など、三者が連携・協力して事業を実施していきます。

賑わいのある地域づくりに向けた包括連携協定 締結式



（左から）イオンリテール(株) 執行役員 永山 久美子 北関東カンパニー支社長、山口市長、笠間商業開発(株) 養原 邦明 代表取締役社長

2 友部高校とともにベ保育所で最後の門出

3月6日、県立友部高等学校で「令和5年度 第44回卒業証書授与式および継承式」が行われました。

今年度で閉校となる友部高校の、最後の卒業生となる24名の皆さんは、お世話になった先生方や友人たちとの別れを惜しみつつ、県立IT未来高校の在校生に後の歴史を託しました。卒業生の皆さん、おめでとうございます！

また、3月16日には、ともべ保育所で、公立の保育所として最後の修了式が行われました。

今回修了となるのは20名の子どもたち。保育証書の授与では、子どもたちが大きな声で返事をして、堂々と保育証書を受け取りました。

小学生になっても、ともべ保育所での思い出を胸に、たくさん友だちを作って、いろんなことに挑戦してくださいね！



卒業証書授与（友部高校）

修了式の様子（ともべ保育所）

7 新1年生へ黄色の安全帽を贈呈

| 3/21

常陸農業協同組合（JA常陸）から、新入学児童へ交通安全帽子530個を寄贈いただきました。

J A常陸からは、毎年黄色い安全帽子を贈呈していただいています。その歴史は昭和51年からで、今年で48回目になります。

また、補助教材「農業とわたしたちの暮らし」もあわせて寄贈いただきました。

市内全ての小学校・義務教育学校の授業で活用させていただきます。

長きにわたる温かいご支援に感謝します。



(左から) JA常陸 国谷 博隆 常任理事、角田 元晴 常務理事、山口市長

5 市道来栖本戸線が開通

| 3/19

市道来栖本戸線が開通しました。

これまで約2,700mが供用されていましたが、今回約400m区間の整備が完了して全線開通となりました。

全長約3,100mの区間を通行できるようになり、市内移動時間の短縮により、生活の利便性向上、国道50号の渋滞緩和が見込まれます。

開通式ではテープカットが行われ、新たな交通の幕開けに華を添えました。

交通事故には十分注意して、新しい道路を利用してください。



テープカットの様子

(左から) 笠間市交通安全母の会 安達 あだち あき子 会長、笠間市議会 建設土木委員会 益子 やすこ 委員長、山口市長、笠間市議会 大関 久義 議長、笠間警察署 本田 淳一 署長

8 岩間消防署新庁舎が完成

| 3/28

同一敷地内で建設を進めてきた岩間消防署新庁舎が完成しました。

新庁舎には、地域の防災拠点として機能を発揮するため、停電時でも72時間稼働可能な非常用発電設備や井戸を設置しています。また、環境にやさしく経済性に優れた庁舎で、太陽光発電設備や冷暖房設備の負担を低減するアースチューブ（建物に導入する外気を地中に埋めたチューブに通すことで地熱を利用し夏は冷却、冬は加熱するシステム）など自然エネルギーを利用する設備も備えています。さらに、車庫棟の屋上や壁面を利用した訓練場や、女性消防吏員の活躍推進のために、女性が安心して勤務できるための女性専用仮眠室も整備しています。



完成した新庁舎

6 「かがやく笠間の先人たち」の改訂版が完成

| 3/21

『かがやく笠間の先人たち』の改訂版が完成し、編さん及び執筆にあたった笠間市の市史研究員8名の皆さんが小沼教育長へ報告しました。

平成26年に発行した初版では56名の先人を紹介しましたが、今回の改訂版では初版の内容を見直すとともに新たに7名を追加。市内外で活躍し地域や日本の発展に力を尽くした63名の先人を紹介しています。

この冊子は、市内の小学校や義務教育学校へ電子データで配布し、郷土学習などに活用されます。また、生涯学習課およびかさま歴史交流館井筒屋で販売のほか、市立図書館にも所蔵されています。ぜひお手に取ってご覧ください。



(前列左から) 萩野谷 洋子さん、矢口 圭二さん、小沼教育長、松本 兼房さん、南 秀利さん
(後列左から) 川崎 史子さん、松山 京子さん、幾浦 忠男さん、福島 和彦さん

11

茨城県央環境衛生組合を設立

| 4/1

笠間市と茨城町で構成する「茨城県央環境衛生組合」が設立しました。

この一部事務組合は、茨城町で現在稼働しているし尿処理施設の老朽化に伴い、新たに施設を整備していくための組織です。

組合設立にあたって、4月26日に令和6年第1回茨城県央環境衛生組合議会臨時会を開催し、議長と副議長の選任、また、条例や一般会計予算案などについて、審議し、承認・可決されました。

茨城県央環境衛生組合 構成員 ※敬称略

管 理 者	小 林 宣 伸	おのり 小 林 宣 伸	(茨城町長)
副 管 理 者	山 口 林 吉 伸	やまぐち 小 林 吉 伸	(笠間市長)
議 長	海 老 澤 忠 之	うまざわ ち 之	(茨城町議会議員)
副 議 長	内 山 桶 克	うちやま ぶ ち 克	(笠間市議会議員)
議 員	西 山 貫 崎	にしやま ぬ き 貫 崎	(笠間市議会議員)
議 員	大 石 勝 三 子	おおいし ち 勝 三 子	(笠間市議会議員)
議 員	石 佃 敬 龍	いし づ け 佃 敬 龍	(茨城町議会議員)
議 員	美 野 田 龍 敏	みの だ 龍 敏	(茨城町議会議員)
議 員	根 崎 敏 夫	ね ざ け 敏 夫	(茨城町議会議員)



(左から) 副管理者 山口市長 (笠間市)
管理者 小林町長 (茨城町)

問 茨城県央環境衛生組合 TEL.029-291-3531(直通)

12

市内小・中・義務教育学校で陶芸教室を開催

| 5/14

市内小・中・義務教育学校で「第23回全国子ども陶芸展 in かさま」に出品するための陶芸教室を開催しました。市内陶芸家を講師に迎え、子どもたちは自由な発想をかたちにしようと作品づくりを楽しみました。

児童生徒たちが制作した作品は、7月20日から茨城県陶芸美術館で開催する「第23回全国子ども陶芸展 in かさま」で展示されます。



みなみ学園義務教育学校での陶芸教室の様子

9

道の駅かさま来場者 200 万人突破記念感謝祭

| 3/30

道の駅かさまの来場者数が3月9日に200万人を突破したことを記念して、3月30日から2日間感謝祭が開催され、抽選会や特別記念切符の配布のほか、店舗ごとに200万人突破記念サービスも提供されました。



来場者 200 万人突破を記念した特別記念きっぷ

10

あたご天狗の森と笠間工芸の丘のカフェがリニューアル!

〔あたご天狗の森〕

3月31日、吾国愛宕県立自然公園内にある「あたご天狗の森」の竣工式典が行われました。

多くの方が車で訪れてハイキングなどの徒歩に切り替える中継地点として利用されていることから、「心も体も切り替わる中継地点」をコンセプトに再整備。

公園内の「あたごフォレストハウス」には、飲食エリアや多目的スペース、シャワー付きの更衣室、展望デッキなどが新たに設けられました。

〔笠間工芸の丘〕

4月29日には、笠間工芸の丘のカフェ(クラフトカフェ)がメニューを一新し、席数を増やしてリニューアルオープンしました。

地元食材を使用したメニュー内容で、スイーツも充実しています。



あたごフォレストハウス



クラフトカフェ ~カフェ&ダイニング~